

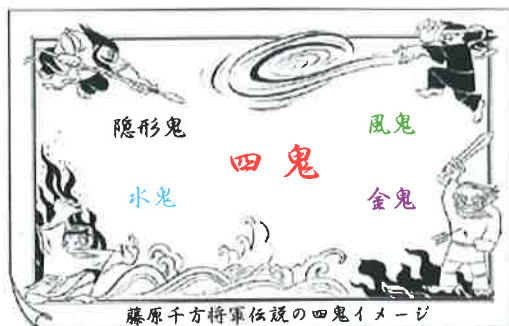
忍者発祥の地・高尾に残る藤原千方将軍伝説の案内

誇り高さあおやまの里 ～ 藤原千方伝説地 ～

◆ 藤原千方将軍伝説とは



藤原千方将軍



平安朝の時代、朝廷で権勢を誇った藤原一族の青年貴族で“鎮守府将軍”の地位にあった藤原千方は伊賀・奥伊勢の地へ赴任しました。

千方には摩訶不思議な術を会得した四人の荒法師（金鬼・風鬼・水鬼・隠形鬼の四鬼）が付き従っていました。武勇の千方と千方に従う四鬼は、村人に害をなし人々に恐れられていた化け猫を退治したり、農民のためにと山を切り開いて開墾を進めるなど、村人から“将軍さん”と慕われ、敬われていました。

しかしながら、ある時、謀反を疑われ、討伐の対象となります。

*討伐の対象となった原因には様々な説があります。

1. 驕り高ぶった千方が法外な位階（鎮守府将軍：従五位から正二位）を要求したため
 2. 農民と共に苦勞して開墾した土地に重税を課せられ批判したため
 3. 千方が持っていた“たたら技術”を奪おうとしたことに反抗したため
 4. 権力争いが激しい時代、反逆の罪を着せられたため
- などなど

大軍で押し寄せる朝廷軍に対し、千方と四鬼らは神変秘練の術を用いて千方窟に立て籠り、朝廷軍をさんざん手こずらせて撃破していたものの、朝廷軍の大將紀友雄が「草も木もわが大君の国なれば、いずれか鬼のすみかなるべき」と矢文を放ったところ、四鬼は恐れおののき四散し、さすがの千方もあまりに多い軍勢に抗しきれずついに高尾逆柳の地で打ち取られてしまいました。（伊勢の方では千方は白山町に逃れたが、追討軍によって瀬戸が淵で討たれたとされています。）

後の世に編纂された「太平記」や世阿弥の謡曲「田村」では朝廷への逆賊として語られていますが、地元では“将軍さん”と尊信を受けており、千方窟には「千方明神」として祀られています。また、千方窟は忍者発祥の地であり、四鬼たちは忍者集団の走りであるといわれ、その操る法術は忍術として後の世に伝えられていきます。

● 藤原千方はいつの時代の人物か

「太平記」などでは藤原千方は天智天皇の叛臣として描かれています。天智天皇(626～671)は飛鳥時代の人物です。

一方、他の古文書「三国地書」、「伊水温故」では千方は村上天皇(926～967:平安時代中期)の時代となっています。

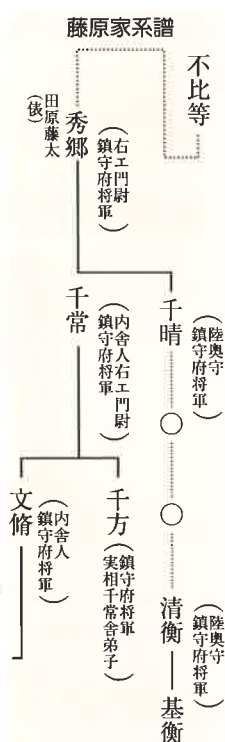
果たしてどちらが正しいのか

『尊卑分脈』に記載されている藤原一族の系譜によると千方は藤原秀郷の孫(実際は秀郷の六男)として記載されています。秀郷は「天慶の乱(939年:平安時代中期)」で平将門を討伐したことで有名な人物です。(史実です)

村上天皇の時代とも符号しており、こちらが正しく、平安時代の人物だと推測できます。

「太平記」などではなぜ時代を間違えたのでしょうか? 故意に間違えたのか、それとも別の乱と混同して書かれたのか。その辺は謎です。

◎千方將軍伝説にまつわる史跡がこの伊賀高尾に残っており、悲運の將軍にふさわしい神秘的な空間、今でいう《パワースポット》ですのでご紹介します。



◆ 千方窟 (ちかたくつ)

藤原千方軍が立てこもったといわれる砦跡さほど高くはない山の頂にあり、うっそうとした杉木立の中を登ってゆくと、柱状節理の岩が屏風のように並んで窟となっている天然の要塞です。

大門や井戸跡、厩跡もあり、遠い昔の戦乱絵巻が思い浮かんでくる気がします。

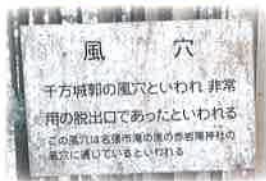
風で杉木立が打ち合う音しか聞こえない静寂の中に身を置き、覆いかぶさってきそうな屏風のような岩と向き合うと、靈氣に包まれて自然と瞑想の世界へと誘い込まれてしまいます。



千方窟
千方將軍伝説の史跡
とても神秘的です

四鬼が消えたという風穴は名張市滝の原の『赤岩尾神社の風穴』につながっているともいわれています。

千方窟風穴



赤岩尾神社風穴



中央の大岩石には紀友雄が矢文で射ち込んだといわれる歌『草も木もわが大君の…』が刻まれています。

(これは昭和3年高尾区が千方伝説を記念して刻み込んだものです)

また、この碑文の前の石畳の上に祠があり、高尾中原池の氏神である「若宮明神」と共に藤原千方が「千方明神」として祀られています。

大岩に刻まれた歌

「草も木もわが大君の国なれば
いずか鬼のすみかなるべき」



右「千方明神」の祠 左「若宮明神」の祠



横笛の名手でもあった千方將軍の奏でる笛の音に勇気づけられ、将兵らが団結して戦ったという「強い団結力」にあやかり、絆が深まるとして縁結びの効果があると地元では囁かれています。

千方窟への散策路

高尾地区市民センターより徒歩約30分の道のり、登り道が続くが、木立の中を歩くと森林浴にもなり、気持ちよい。



◆ 血首ヶ井戸(ちこべがいど)：逆柳の甕穴(さかやなぎのおうけつ)

甕穴とは、川床の岩盤表面の窪みに石が入り流水とともに回転して岩盤が削られて深い穴となったものです。



床並川に、直径1.5m、深さ4mの雄井戸と呼ばれる甕穴と直径3m、深さ1.2mの甕穴(雌井戸)がありますが、窪みは年に1mmに満たないくらいしか削られないため、雄井戸は4～5千年の歳月をかけて形作られた甕穴(ポットホール)なのです。

これらの甕穴は流れの中にあるため、普段は半分くらいまで土砂で埋まっており、残念ながら全貌を見ることができません。(年に一度、甕穴祭りの際に川をせき止め、内部の土砂を取り除き、観察が可能となります。)



穴の内壁がすべすべとし、とても美しい現在進行形の甕穴でもあり、穴の深さ、形からみて日本一ではないかと云われています。(三重県指定天然記念物)

藤原千方が朝廷軍と戦った折、討ち取った敵の首(こうべ)を此の甕穴に投げ込んでいったということから、血の首の井戸すなわち血首ヶ井戸(ちこべがいど)と言われるようになったようです。

なんとも血生臭くて気味の悪い由来を持つ甕穴ですが、“断ち切る”という意味合いから

悪病・疫病

地震・風水害による災難

災いをもたらすようなしがりみ

などから縁を切るのに霊験があるのでは…と噂されるようになり、病気や災難からの縁切りを願いにくる人が少なからずいらっしゃいます。

縁切りを願う人は甌穴まで出向いて甌穴に小銭(硬貨)を投げて願うのですが、水流に流されずに小銭が甌穴に沈めば願いが叶うということです。

田畑の用水路が整備される以前には、旱魃のときに甌穴の中にある卵のように丸くなった石(卵石または雨乞石)を首に見立てて取り除くと千方が怒り雨を降らすという雨乞い祈願が村人総出で行われていたようなので、縁切り祈願にも霊験がありそうです。

* 甌穴祭りで行われた雨乞い祈願の様子



卵 石

高尾床並地区内の萬松寺にて保管されている。
発見した当初は複数個あったといわれるが、
現存が確認できるのは萬松寺のものだけである。

斗蓋ヶ淵 (とさかぶら)

甌穴までの途中にあり、千方と四鬼が一斗入りの盃で酒盛りをしたと云われる場所。およそ2.5mの高さから底知れぬ深い淵へと流れ落ちている。

伝説地の一つである。



甌穴への散策路

甌穴へは床並ダムから床並川をさかのぼって15~20分。

床並川は、川床が岩盤であるため清流の浅瀬が続く、この清流に沿って杉木立を縫うように杉道を歩けば真夏でも冷気に触れ、木漏れ日の道は靈気も漂い、気分はとても爽快です。

床並地区から林道を通っていくこともできますが、ウォーキングにはこちらの道がお勧めです!



● 甌穴周辺の四季

春：新緑の甌穴周辺

厳しい雪の季節から新しい生命の息吹を感じさせるこの時期、甌穴周辺も川のせせらぎ、鳥のさえずりと相まって、清しい気持ちの良い環境をかもし出している。



夏：甌穴祭り

7月下旬に開催される甌穴祭りでは、地区内外から150名ほどの人でにぎわっている。甌穴内部の観察、鱒のつかみ取り、厄除け石の投げ込みなど大人から子供まで楽しめるイベントである。



秋：甌穴路入口 床並ダムの紅葉

湖面に映る紅葉も見所の一つ。

甌穴周辺では甌穴の前後数10mの川面すべてが黄色に染まることもある。(枯葉色ではない)これは壮観である。

めったに見ることができない為、これに遭遇した人は大変幸運と思って間違いない。

冬：厳寒の甌穴周辺

白一色の寂莫たる環境の中に身をおき、「人生とは?」、「自分とは何か?」など独り思索に耽るのも一興であろう。



◆ その他の藤原千方伝説の地

猫 岩

千方が化け猫と共に断ち割ったと言われる縦約2m、幅約4mの大岩である。見事に十文字に割れている。

高尾鈴又地区の人里離れた山林の中にある。



笛吹岩

千方が四鬼たちの心を癒すために笛を吹いたと云われる岩。高さ約4m超の巨岩である。

高尾の隣、霧生地区狼谷にある。地元では「ふえし(笛石)」といわれている。



藤原千方伝説の地は「**日本遺産:忍びの里 伊賀・甲賀—リアル忍者を求めて—**」を構成する文化遺産に令和2年追加認定されています。

特に「千方窟」、「血首ヶ井戸(逆柳の甑穴)」については日本遺産であることを示す看板が建てられており、途中の道には道標が置かれています。

千方窟の道標及び看板



血首ヶ井戸(逆柳の甑穴)の道標及び看板



道標の側面には「臨、兵、闘、者、皆、陣、列、在、前」の忍者が精神集中や厄除けの手段として用いた九字護身法の呪文が記されている。

イベント

藤原千方にまつわる史跡の千方窟、血首ヶ井戸（逆柳の甌穴）そして藤原千方將軍伝説を広く知ってもらおうと、「千方伝承会」の面々が活動しています。

千方窟、血首ヶ井戸の保全整備や路程のハイキングコース整備をしているほか、史跡でのイベント開催などにも取り組んでいます。

主なイベントとして

5月下旬 **千方窟までのウォーキング**

7月下旬 **甌穴まつり**

- ・甌穴の現場で鱒つかみ
- ・雨乞い、悪疫退散祈願
- ・鱒の塩焼きの振舞い
- ・甌穴内部の観察

11月中旬 **甌穴路で紅葉狩り**

などを催しています。

* 甌穴祭りの参加者を出迎える
平安時代の衣装で扮装した
千方將軍と四鬼



高尾住民自治協議会 千方伝承会 協賛：青山観光振興会